

情報(系列選択)

科目名			
情報Ⅱ			
履修条件			
・情報Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	G	0円
定期試験(授業内を含む)の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	○	×	⑧
<p>【紹介】 情報Ⅰで学んだことをさらに発展させて、情報技術を効果的に活用し、創造的な活動に取り組むことで、問題の発見・解決を目指す科目です。 授業では特にプログラミング実習を中心に扱います。また、コンテンツの制作やデータサイエンス、コミュニケーションなども関連して扱います。 パソコンを問題なく操作できることを前提に授業を進めます。タイピングに自信がない人は進級するまでに十分練習をしておいてください。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・大学入学共通テストで「情報Ⅰ」の受験を考えている人は、この「情報Ⅱ」も必ず履修しておきましょう(試験範囲カバーのため)。 ・実習メインの科目ですので、遅刻や欠課をしないようにしましょう。</p>			

科目名			
情報産業と社会			
履修条件			
・情報Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	G	0円
定期試験(授業内を含む)の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	○	×	⑧⑬
<p>【紹介】 情報に関する実践的・体験的な学習活動を通して、職業人として必要な基礎的な資質・能力を身につけます。 教材として、全商ビジネス文書実務検定試験(ワープロソフトが中心)3級と、全商情報処理検定試験(表計算ソフトが中心)3級を扱います(検定の受検は自由です)。さらに上の級を目指したい人は、3年次「情報の表現と管理」を選択すると、両方の検定の2級の学習を行うことができます。検定を取得すると調査書や履歴書に記載できます。 事務系の就職や、情報系の進路を考えている人におすすめの科目です。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・授業開始時点で、ある程度のタイピングの速さが必要です。 ・授業中、ひたすらパソコンの入力と操作に取り組む実習主体の授業です。自分に向いているかよく考えて選択しましょう。また遅刻や欠課をしないようにしましょう。</p>			

情報

科目名			
情報デザイン			
履修条件			
・情報Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	E, I	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	○	×	⑧⑩
<p>【紹介】 情報デザインの基礎的な知識と技術を習得します。 パソコンや情報機器を活用したデジタル作品の制作がメインになります。情報技術や著作権、デザインの基本的知識も学びます。課題をただ制作して提出するだけでなく、成果物を他の人とシェアをして評価を受け、改善するなどの活動もありますので、柔軟性や洞察力が求められる授業です。 情報系やデザイン系の進路を考えている人におすすめの科目です。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・ある程度パソコンの操作ができることを前提に授業を進めます。 ・実習メインの科目ですので、遅刻や欠課をしないようにしましょう。</p>			

科目名			
情報の表現と管理			
履修条件			
・情報産業と社会を履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	F	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	○	×	⑧⑬
<p>【紹介】 情報の表現と管理に関する実践的な学習活動を通して、パソコンの実務能力を身につけます。 教材として、全商ビジネス文書実務検定試験（ワープロソフトが中心）2級と、全商情報処理検定試験（表計算ソフトが中心）2級を扱います（検定の受検は自由です）。検定を取得すると調査書や履歴書に記載できます。 事務系の就職や、情報系の進路を考えている人におすすめの科目です。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・授業開始時点で、ある程度のタイピングの速さが必要です。 ・授業中、ひたすらパソコンの入力と操作に取り組む実習主体の授業です。自分に向いているかよく考えて選択しましょう。また遅刻や欠課をしないようにしましょう。</p>			

情報

科目名			
コンテンツの制作と発信			
履修条件			
・情報Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	D	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	○	×	⑧
<p>【紹介】</p> <p>情報技術を活用して、様々なコンテンツの制作と評価に取り組みます。また、コンテンツの発信に関する基礎的な技能を学びます。「メディアとサービス」と授業の内容が重ならないようにします。</p> <p>クリエイティブな活動に関心がある人におすすめの科目です。</p> <p>コンテンツの種類は、映像、アニメ、出版、音楽など多岐にわたるので、年度ごとに主として取り扱うコンテンツを決めて多角的に研究することになります。</p> <p>（令和6年度は「アニメ研究」を中心に取り組みました。来年度は変更になる可能性もあり）</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度パソコンの操作ができることを前提に授業を進めます。 ・実習メインの科目ですので、遅刻や欠課をしないようにしましょう。 			

科目名			
メディアとサービス			
履修条件			
・情報Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	H	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	○	×	⑧
<p>【紹介】</p> <p>情報技術を活用して、デジタル作品の企画や制作に取り組み、メディアやサービスに関する理解を深める授業です。「コンテンツの制作と発信」と授業の内容が重ならないようにします。</p> <p>クリエイティブな活動に関心がある人におすすめの科目です。</p> <p>メディアの種類は、TV、ゲーム、SNS、インターネットなど多岐にわたるので、年度ごとに主として取り扱うメディアを決めて多角的に研究することになります。</p> <p>（令和6年度は「ゲーム研究」を中心に取り組みました。来年度は変更になる可能性もあり）</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度パソコンの操作ができることを前提に授業を進めます。 ・実習メインの科目ですので、遅刻や欠課をしないようにしましょう。 			